

生物化学的測定研究会 第20回学術集会プログラム

「国際標準化を目指すバイオ分析法」

国際標準(Global standard)とは、製品の品質、性能、安全性、寸法、試験方法などに関する国際的な取り決めである。国際市場においても円滑に経済取引を行っていくには、相互理解の面があると同時に、新技術・製品の国際的普及のためにも、技術内容が国際的に理解できる形で共有されていることが必要であり、国際標準化への取り組みは極めて重要である。近年、日本でもバイオを含む分析法の海外普及・展開が見られ、国際標準化はその推進力になる可能性を秘めている。

本学術集会では、国際標準化に関わりのある5名の講師をお招きしてご講演を拝聴する。今後の国際標準化を展望するよい契機になれば幸いである。なお、学術集会に先立って、当研究会の年次総会(13:00～13:20)を開催しますので、会員の方々は合わせてご参加願います。

■ 日時：2015年(平成27年)6月12日(金)13:00～17:00(受付12:30より)

■ 場所：東京工業大学田町キャンパス・イノベーションセンター 2階(多目的室2)
(〒108-0023東京都港区芝浦3-3-6)

■ プログラム：
総会(13:00～13:20)

開会の挨拶(13:20～13:25) 学術集会長 山本 司(株式会社日吉 技術部品品質保証室長)

講演

1. 環境測定分野における国際標準化活動(13:25～14:05)
一般社団法人産業環境管理協会 国際協力・技術センター副所長 大野 香代
2. ダイオキシン類を測定する生物検定法と臭素化ダイオキシン類の測定評価への応用(14:05～14:45)
国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター主任研究員 鈴木 剛
3. 日本で開発または評価された OECD テストガイドライン(14:45～15:25)
国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター安全性予測評価部第二室長 小島 肇

休憩(15:25～15:35)

4. ダイオキシンバイオセンサーの開発のあゆみと今後の活動(15:35～16:05)
京都電子工業株式会社 主任研究員 高木 陽子
5. レポータージーンアッセイ(ケイラックス®法など)の活動紹介(16:05～16:35)
株式会社日吉 技術部分析研究課ダイオキシン係長 中村 昌文

総合討論(16:35～16:55)

閉会の挨拶(16:55～17:00) 研究会会長 小林 典裕(神戸薬科大学 教授)

情報交換会(18:00～20:00)

- **参加費** : 会員 3,000 円(要旨集込み)、非会員 5,000 円(要旨集込み)、学生;無料(要旨集 2,000 円)
情報交換会費:5,000 円

*参加費は当日受付でお支払い下さい

■ **参加申込** :

(1)FAX での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へ FAX 送付(03-3268-5592)

(2)E-mail での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へ E-mail 送付(kem.basj@kyoto-kem.com)

(3)申込時の必要事項(記載例)

生物化学的測定研究会第20回学術集会の参加を申し込みます。

会員種別 : 会員(個人・法人)、非会員

交流会参加 : 参加、不参加

氏名 :

勤務先 :

郵便番号 :

住所 :

TEL :

FAX :

E-mail :

*参加費は当日受付でお支払い下さい

- **アクセス** : JR 田町駅(山手線・京浜東北線)より徒歩 2 分

(東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター、東京都港区芝浦3-3-6)

http://www.titech.ac.jp/about/campus_maps/tamachi.html

- **問合せ** : 生物化学的測定研究会事務局(担当:照沼)

〒101-0062 東京都新宿区市谷砂土原町 2-7-1

京都電子工業株式会社 東京支店内

TEL:03-5227-3151 FAX:03-3268-5592

E-mail:kem.basj@kyoto-kem.com

HP: <http://www.basj.info/>